
あたしね、卒業したいの。生きたいの。

瑠維

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あたしね、卒業したいの。 生きたいの。

【Nコード】

N5217D

【作者名】

瑠維

【あらすじ】

「希乃」の命のお話。ほとんどノンフィクション。

1話・シニタイ（前書き）

今回は、「希乃」

が、どんな女の子か、わかってもらおうと思
い、書きました。

1話・シニタイ

本当に

出会えてよかった

みんなに

あなたに
：

12月23日

今日から冬休み。

あんまりそんなカンジはしないけど、

ちゃんと休み。

朝遅くにおきれるのは、あたしにとって、

すごく嬉しいこと。

だって…

「おい前川！」

ん？優助だ。

何であたしを呼ぶの？

あ、今日の事かな…

「何か用？」

わざとに気を悪くして、優助の顔を睨んで、
思ってもナイ言葉をいった。

こうでもしないと、

いざ離れる時…

悲しいから…。

なのに、優助はそんなあたしの気持ちも知らずに…
話かけてくるんだ。

あたしの病気、知ってるくせに…

いつのまにか外は暗くなってきた。

「今日お前の母さんおる？」

優助は毎日あたしの家に来る。
お母さんに言われたか何だかしらないけど、

正直やめてほしい。

あたしの気持ちなんて、誰にもわかんないよ…

優助を無視して、帰ろうと思った。

振り向くと、冷たいカゼがあたしにぶつかってくる。
体が震えてくる。

（もう、寒い！）

冷たいカゼは、ずっと吹きつづけている。
あたりまえな事が、すごくイヤに思える。

死ぬ前だからかな…
すごく考えがうまれてくる。

「おい、前川！何で無視するん？」

「……何でついてくんの。」

「だって俺の家もそっちゃもん」

「……………あ、そ。」

こんな会話でもない会話をしながら、
家へかえっていった。

あたしと優助は同じマンション。

あたしは5さいの頃にここに引っ越してきた。

病气ってわかってから…。

あたしはその時何も知らされてなかったから、
「ただのお父さんのお仕事の都合」
と思っていた。

ここは、田舎で空気がいいから、
引っ越してきたらしい。

ちゃんとした事は、最近きいた。

病气って事は、3年生の頃きづいた。

このままあたしは、死んでいくんだろうな…

そう思っても、不思議とつらくはなかった。

むしろ、

楽になるかもしれない。

そんな事さえ思ってる。

だって、

生きていたって…

イミがない。

死にたい。

1話・シニタイ（後書き）

まじで、暗い女の子ですね（・・・）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5217d/>

あたしね、卒業したいの。生きたいの。

2010年12月18日18時04分発行